

第1話 相方を探せ！

「書評漫才」のデモ動画を撮影するなら、見本は二人でやる方がいい。そこでボクは相方を探すことにした。事務室などで声をかけたが、いい返事がない。しまった、この職場はシャイな人が多いところだった。大いに反省したいが、練習するならここで探すしかない。

ある日、雑談で中学時代の夢の話になって、「図書館員」とか言ってる中で、「売れない芸人になりたかった」と言った奴がいた。それがK山だ。「それなら今がチャンスだぜ！ ネットの動画で全世界デビューだ。」と、無理無理コンビを結成した。

これで野望に一步近づいた！ 続きは次回